

恋する川柳物語かわら版



其の二十三

第二十二回 「恋する川柳」——【春】恋する川

柳編——の応募作品集です。恋する気持ちを詠む川柳「恋する川柳」春編では、『ご縁・御縁(ごえん)』または『縁(えん)』

という言葉を句に詠み込むというお約束でしたね。

春と言えば、卒業入学に入社式と色々とおめでたいことがあつたりしますが、このたび清流茶屋かわらでも「万歳☆」と喜びたくなることがありました。過去最多の三五一

句ものご応募をお寄せいただきました。過去最多の三五一句にありがとうございました。こんなこと言つてたら、ほかの川柳コンクール主催者さんに鼻で笑われちゃうかも（個人的偏見です。ゴメンナサイ。）されませんが、この川柳が始まつた頃には、これだけたくさん全国の川柳ファンの方々とのご縁をいただけるとは夢にも思いませんでした。「恋する川柳」の、そしてみなさまの温かいご声援や想いの詰まった作品のお蔭で、私の川柳熱はますます上がつています。

これからも、細く長く：でも良いので（笑）、みなさまと息の長い川柳お付き合いをしていただけますと大変喜びます。

ほな、今日もぼちぼち見てつかあさいな。

【応募作品一覧】

- ◆ 桜散る 新たな恋へ 新芽萌ゆ
- ◆ 春風に 触れて離れる きみの指 (岐阜市)
- ◆ 妻の手に 御縁坂ゆく 老い楽し
- ◆ 全国に ご縁でアイドル 水森さん (P・N 橘 昭和・写楽)
- ◆ このご縁 有難きかな 春の風 (P・N 橘 舞衣)
- ◆ ジジババは 昔御縁の 宅配便 (吹田市)
- ◆ 何かの縁 お地蔵様に 願いごと
- ◆ 旅をした サツカーボールの 不思議な縁 (鳥取市)

◆偶然が 3つ重なり 縁と知る (P・N 文海胡)

◆春風に 誘われ君と 手をつなぐ (P・N ミント)

◆縁側で 子供にりんご 擦いてやる (P・N 夕樹)

◆縁側とて 振り返る君 みそ婆ちゃん

◆花筏 掬つてしまんだ 春の恋 (P・N 茶々丸)

◆ご縁とて 振り返る君 みそ婆ちゃん

◆縁うれし 茶席でキラリ 花の乱 (P・Nくにお)

◆縁がある 聞けば素末にや 出来ません

◆つばめ来て 恋が始まる 季となりぬ (鳥取市)

◆道を訊く ゴ縁ありそな 頬さがし

◆大凶の 縁に背いて 子は五人 (P・N よみ蛙)

◆達筆のご縁思案の メールする (P・N 矢車草)

◆ようやくに 触れたご縁の 赤い糸 (P・N 風柳子)

◆春風に のつて来ました 恋ひとつ

◆待てないで ご縁迎えに 親が出る (P・N 雪子)

◆いい御縁 感謝感謝の 年月よ (智頭町)

◆縁の縄 引いて息子の 嫁さがす

◆花びらと 共に薄れる 恋心

◆夜桜に 見とれて樹の根に けつまづく (島根県)

◆はねる縁 河原風情 福高し (P・N 伯坊)

◆別部屋に 寝る縁結び 50年

◆恋猫が 桜の下で 巴戦 (P・N 石花菜)

◆私も 野山と共に 芽吹く恋（八頭町）

◆雪の下 春待つ愛の 芽が出づる（宇治市）

◆恋してるかぎり こころは いつも春

◆おさい銭 全部五円玉ですます

（P・N 岩美のおぼっちゃま）

◆待つ身とて ご縁と思う 春うらら（P・N 小星）

◆道の駅 何かの縁が 潜んでる（鳥取市）

◆早よ決めろ これが縁だと 迫る親

◆妹に 友が取り持つ 縁と成り（P・N 最能美湯参）

◆またくしゃみ 縁がくすぐる セいかしら（米子市）

◆うぐいすが 哒いたと母が 春を呼ぶ

◆男にも 女にもある 春の色（鳥取市）

◆雪解けで ひそかに芽生えし 恋心

◆紅き頬 春の訪れ 知らせてる（P・N 薬寺村 池丸）

◆ランドセルピカピカ 恋もピカピカで（P・N れんじい）

◆酔い候 酒、花、君に トリプルで（P・N よこべー）

◆合コンは 君と僕との 縁結び

（P・N 浦賀のカズちゃん）

◆花の旅 ご縁で友が 一人増え（P・N みっちゃん）

◆キュー・ピッヂ ハートに放つ ご縁の矢

◆お花見の こつそり場所取り 君の横（P・N 真昼）

◆春めいて 恋する予感 何となく（P・N とんちゃん）

◆春の恋 少し朝寝で 目が覚める

◆春に夜は 酔った振りして 花の下

（P・N 働き蜂えちゃん）

◆恋の春 庭の巣箱に 訪れる（P・N 高杉伸二郎）

◆桜舞う バス停二人 手をつなぎ（P・N ミニロック）

◆初恋が 芽吹いて散った 卒業期

◆桜散る前に あなたに プロポーズ（P・N 酒乱Q）

◆桜より 君が数倍 艶やかに（P・N おじやすか）

◆つなぐ手に 桜ひとつひら 舞い降りる（P・N 鼓吟）

◆君の花 咲くまで春の 風になる（P・N 山桜桃）

◆春を知る ペットは主人 裏切らぬ

◆恋猫の ように春こそ 恋盛り（P・N クンタ・キンテ）

◆困ったな 第二ボタンが ふたつほど（P・N 夏海）

◆古事記から 千年待ってる 三春の桜（P・N 水の旅人）

◆ネコ鳴いて 恋の季節を 知らされる（P・N ゆずぽん）

◆恋心 のせて届けよ 春の風（P・N まんまるパパ）

◆あかい実の 木で語らつた 若きご縁

（P・N ときはすぎ）

◆猫ほどの 情熱欲しい 春の宵（P・N ゆみっち）

◆桜咲き また巡り会う 学び舎で

◆君との縁 心に感じ 春の宴（P・N 悠々愛々）

◆ 大嫌い 言い張る頬が 桜色 (P・Nつぶ焼きイモー)

◆ 物思う 春など知らぬ 恋心 (P・Nすふいんくす)

◆ 恋芽吹く 予感ばかりの 草食系 (P・Nふいんくす)

◆ 縁結び グッズに囲まれ 誕生日 (P・Nかたおもい)
◆ 満開の 花は介添え はいチーズ (P・Nすみれ)

◆ 恋をして 心は弾む スプリング
春の陽に 恋が咲きます カラフルに (P・Nすみれ)

◆ 爛漫の 春にそむいて 二浪する
春柄の ネッカチーフに 透ける皺 (P・N比呂子)
◆ としかさね えんのもつれて なむあみだ
(P・Nひもじーさん)

◆ 潤む目に 花粉と知らず プロポーズ
春柄を 見事着こなす 柳腰 (P・N茂平)
◆ 縁むすび 太さいろいろ 赤い糸 (P・N万年少年)

◆ 春と恋 ぴったしかんかん 名コンビ (P・Nよもやま)
恋は春 あの頃あの日 想い出す (P・N翔のんまな)

◆ 春の香に 恋また燃える 花のえん (P・Nながれやま)
春風の 前に立ちては 妻かばう (P・N泰平楽)

◆ 幸せの しつぽをつかむ 春の宵
春嵐の 如きときめき 身を包み (P・Nあーさまま)
◆ 春雨に まぎれて寄り添う 傘ひとつ

◆ 陣取りが 御縁でふたり 花吹雪 (P・N五時ゆうご)
◆ 偶然の 出会いもご縁が あってこそ (P・N星空 湊)

◆ 花見席 隣の縁で 咲いた恋 (P・N琴音翼)
春ですね 恋を語らう 屋根の猫 (P・N奴だこ)

◆ 御縁樹に 達者でポツクリ 頼む祖母 (P・Nビーナス)
◆ 桜吹雪 ライスシャワーを 思い出し (P・Nシロ)

◆ 春ですね 恋を語らう 屋根の猫 (P・N奴だこ)
春が咲く ように咲き出す 恋ひとつ (P・Nれもん)

◆ たんぽぽの 占い好きと 出てニヤけ (P・Nはるやす)
◆ 恋をする 春の光りに 負けまいと

◆ 春なのに 目覚めぬ息子の 尻叩く (P・Nあまた)
◆ たんぽぽの 蕎を囲む 春の恋 (P・Nあまた)

◆ ウグイスになつてあなたを 口説きたい
(P・Nふくちゃん)

◆ 君狙う 恋のミサイル 当たる春 (P・Nたかさま)
◆ 春まつり 花火の音に 恋 届け (P・Nれんこ)

◆ 墓参り 母は忘れず チヨコ供え（P・N高塔山の河童）

◆ 縁あつて 勤めて今じや 駅の顔

◆ 道の駅 地産地消の 縁結び（P・Nカール）

◆ 新らしき ご縁求めて 春を待つ

◆ 旅立ちの 新たな出会い 良きご縁（P・Nやまちゃん）

◆ コート脱ぎ 薄着の恋に 春の風（P・N百合香）

◆ 変らない 卒業写真の 笑い顔（P・N初恋天使）

◆ ご縁樹に サヨナライツカ（縁）エンドレス

（P・Nよこちゃん）

◆ 桜散る 恋と同じで あっけない（P・Nかきくけ子）

◆ お花見が ご縁で君と 結ばれる

◆ 葉桜になるころ君に 逢いに行く（P・Nまあくん）

◆ 春が来た 恋するワタシも スイッチ温

◆ 真っ直ぐな 春の匂いの 恋一輪（P・Nキング）

◆ 目が合うと そらしてしまう 恋心（P・Nひより）

◆ 金平糖 夜空に光る 星のよう（P・Nもよもと）

◆ お花見が ご縁で君と 結ばれる

◆ お花見が ご縁で君と 結ばれる

◆ 葉桜になるころ君に 逢いに行く（P・Nまあくん）

◆ 春が来た 恋するワタシも スイッチ温

◆ 真っ直ぐな 春の匂いの 恋一輪（P・Nキング）

◆ 金平糖 夜空に光る 星のよう（P・Nもよもと）

◆ お花見が ご縁で君と 結ばれる

◆ お花見が ご縁で君と 結ばれる

◆ 桜散り 私の心に 変化あり（P・Nイルカ）

◆ 恋をする 我らの青春 中学校（P・Nひややっこ）

◆ 針見つめ 君からのメール まちどおしい（P・Nさ。）

◆ まぬけヅラ 食べてほえるわ アホな犬（P・Nアル△）

◆ 見てるだけ 今日も言えない この想い

（P・Nこうたろう）

◆ 夜桜に 想いをこめて 願いごと

◆ きらいたい けど変えられぬ この想い

（P・Nさくらんぼ）

◆ 坂道を あの子を乗せて のぼるんだ（P・Nアホ）

◆ 遠距離で こわれる恋愛 さようなら（P・Nナ s）

◆ 運命は 別れがあつて 出会いあり（P・Nユウセイ）

◆ 幸せだ あなたの笑顔 見てるとき（P・Nプリン）

◆ アニメキャラ おたくな私 彼に恋（P・Nはっしー）

◆ 目があつた 初めて僕は 恋をした（P・Nなつとう）

◆ 目が合うと 乙女心に 花咲いた（P・Nなな）

◆ あの笑顔 眩しすぎるぜ 私には（P・Nとっこー）

◆ 海や空 全ての景色 僕は好き（P・N DGK）

◆ 特別な 人に届ける ありがとう（P・N×）

◆ 桜咲く いつも隣に 君の声（P・Nがっちゃん）

◆ 目が合つて まつげふせてる 花吹雪（P・N赤ネット）

◆ やわらかな 音色の中の 一目ぼれ（P・Nきみどり）

◆ 広い背に 今日も伝える この気持ち（P・Nはな）

◆ 大安に 紅白の荷を 待つばかり

◆ 式すめば 家族もふえて 笑い増す（伊丹市）

◆ 裹められた 工コ通学は 恋のため（P・Nるみちゃん）

◆ うちの犬 うなる姿も 美しい（P・Nエムラ）

◆ 夜桜見 イケメン見つけ つきがくる（P・N筋肉バカ）

◆ 恋しても はつかし言えぬ 年となり（八頭町）

◆ 携帯を 握りしままの 孫の恋 (P・N ゆうな)

◆ ママが好き パパはごきげん ママにキス

◆ 道の駅 若人達の 出合の場 (鳥取市)

◆ 早少女は 恋に恋して 胸焦がし (P・N おじやすか)

◆ 年の差婚 流行り少々 自信つき (P・N ひなたねこ)

◆ 寡黙でも 同じ波長で 恋進む (P・N よしたい)

◆ 気がつけば あの子のことで 胸いっぱい

(P・N ふつきー)

◆ 留守を待つ サボテンいつも ありがとう

(P・N 吉田 雅史)

◆ 行き先は ヴァージンロード だとカレが：

(P・N 焼けぼっこ)

◆ 薫風に 白馬の王子 来る予感

(P・N てく)

◆ 古傷が 優しくされて 疼きだす (P・N 風爽)

(P・N ほとぽつと)

◆ 誓えるよ きみへの想い 金メダル (P・N おーちゃん)

(P・N おーちゃん)

◆ 一日で 一番綺麗 別れ際 (P・N 孔子きどり)

(P・N てんじょう)

◆ ボランティア 園児らみんな 孫に見え

(P・N ていちゃん)

◆ 酒止めて 孫の学費を 貯金する (P・N ほづ)

(P・N ほづ)

◆ うなされて 疲れて起きる 恋の夢

(P・N ほづ)

◆ 國創り 子種も多き 神代也 (詠み人しらず)

(P・N ほづ)

◆ 恋すれば 必ず悩む 時期が来る (P・N 伸)

(P・N 伸)

◆ 内ポケに 勝負の小箱 プロポーズ (P・N ミニロック)

(P・N ミニロック)

◆ 眠そうな あなたにあくび うつされる

(P・N かてきん)

◆ 恋する目 あなたと合った 目は真珠 (P・N よこっち)

(P・N よこっち)

◆ 好きですと 何度もくらに 伝えたか (P・N いくら)

(P・N いくら)

◆ 公園の 隅で小さな 恋生まれ (P・N みどり)

(P・N みどり)

◆ 五十年 立てば色恋 淡くなる

(P・N だる)

◆ 古希過ぎて 恋の対象 花となり

◆ 色褪せた 手紙開けば 紅の跡 (P・N 看花郎)

◆ ご馳走は あなたの帰宅を 待つてから

停電の 夜に見直す 我が夫 (P・N カズちゃん)

◆ 千年の 愉楽か孤独か 君次第 (P・N おらが春)

◆ 寄りそつて いたくてわざと 忘れ傘

(P・N ふくちゃん)

◆ 泣いたふり 寝たふり 少しずねたふり

(P・N かわちゃん)

◆ 別れ際 冷えたコーヒー すすりあう (P・N 枯れ葉)

◆ 永遠の 恋も命も 飽きる物 (P・N 枯れ葉)

◆ 別れぎは たださよならが 言えなくて (大東市)

◆ ラブラブの つもりがいつしか 尻しきれ

(P・N なほばば)

◆ 亡き妻の ベスト重ね着 夢で逢う

(P・N 左 とつぜん)

◆ 今年梨 姫の色香で 受粉する (上郡町)

◆ 恋文に 万年筆を 品定め (P・N かきくけ子)

◆ くちびるが あと一押しを 待つている

◆ 恋人と 幸せ行きに 乗っている (P・N うずまき君)

◆ 今どこにいますか 桜見ますか (P・N 矢車草)

『一言』とても懐かしい、優しい気持ちになれた一句。

◆ 間違つて 縁切り寺に 初デート (P・N いなちゃん)

『一言』雨降つて地固まる? 強烈なふたりですね!

◆ クラス替え 最初に探す その名前 (P・N うー子)

『一言』私も探してたね。いじめっ子たちの名前の方♪

◆ 春風に 吹かれて揺らぐ 恋心 (P・N やっさん)

『一言』中学生にしてこんな心の機微が!? 素晴らしい。

◆ 葉桜になつても お似合いのふたり (P・N れんじい)

『一言』葉桜になつた私たち:想像するのやめとこ(笑)。

◆ ミツバチも 甘い二人に 寄つてくる

(P・N ザ・落花生)

『一言』嬉しいような、その後がコワイような:複雑。

◆ 神様に 余分に渡す 御縁玉 (P・N 鼓吟)

『一言』五円玉一枚より、五円と一円派です、私。ハイ。

◆ 春風が 恋はいかがと 誘ってる (P・N みちんこ)

『一言』春風に吹かれると妙に心が浮き立つんですよね。

◆ ふわふわと 綿毛に乗って あなたんち

(P・N はるやす)

『一言』花びら占いといい、タンポポは乙女の春の必須

アイテムですね♪

◆ 何度目の 春であろうが 春は春 (P・N 清茶庵)

『一言』世の中のシングル父母たちが万歳しています!

※以上十名様には、秀句として道の駅かわはら幸せの黄色い切符をお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかつた次の三名の方の作品も、プリ特別賞としまして、ブチ砂丘ストラップをお届けします。

◆ 春爛漫 君にフォーカス 花畑

(P・N よこべー)

◆ 春が来て 浮気の病気 再発す (P・N ボンタロウ)

◆ 「母」の奥 小さな春を 秘めておく (P・N あいらむ)

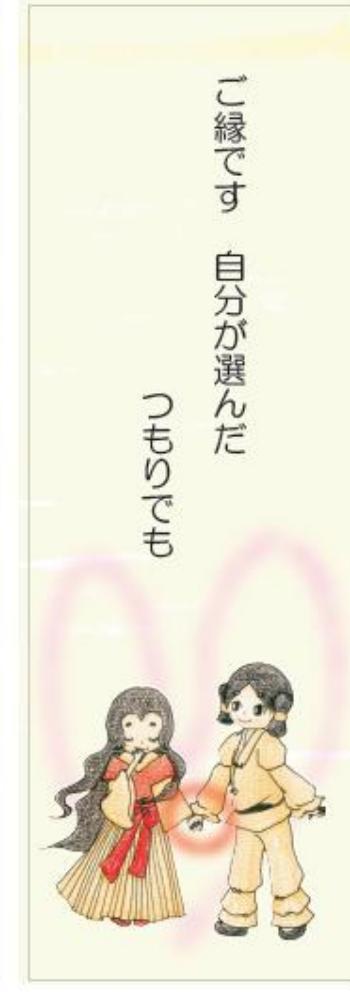
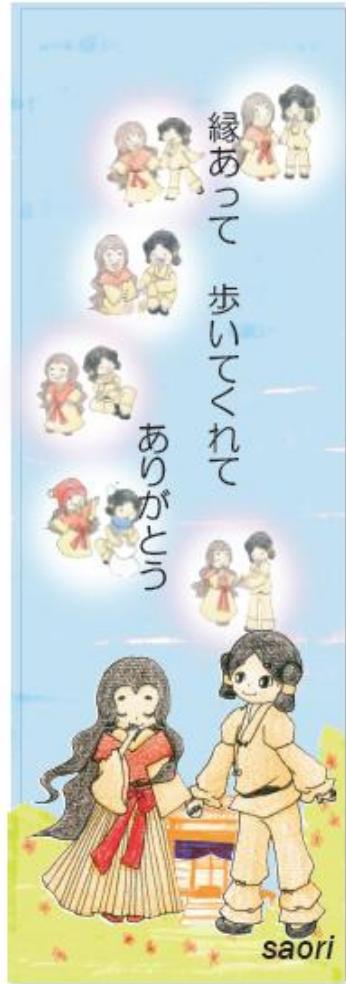
なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、掲載を二句までとさせていただいております。

◆ 今どこにいますか 桜見ますか (P・N 矢車草)

【特別賞】

いただいている。

また、抽選の結果発表については、発送をもつて代えさせて頂きます。次回の【夏】「あなたと鮎む（歩む）川柳」編は六月に募集しますので、お見逃しなく☆



道の駅本館正面玄関前にある掲示板の裏側に、このたび新たに河原町内に残る八上姫伝説にちなんだ観光マップが完成いたしました☆
いつか河原町へどうぞ

by. KISAKI HIMEKO
(郷土神話観光
コーディネーター
☆)